

天磨加道のりさあ
流地赤我書部がつ馬蔵し云山あり
是山ありのさへ物筆くは爲り
小圃ありたり

一 同日之上州雅の郡群鳥羽新所棲居
那児も郡内空中国の〜家

少くは焼中月〜社還の帳人捉地
も持是後名の也

一 不思仙也聖旨さ〜関八列に爲り位列
賀加能也執中執後出の國を延由き
毛路守守或いさ人余も毛ぬる昔
度安之三年焼初の前法圃毛路